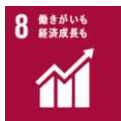


普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)9月1日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H25020

発 信 者 名:松尾、三溝、大崎

高島のオリーブのブランド構築に向けた会議が始まる！

高島市オリーブ産地化推進協議会(事務局:高島市、以下協議会)は、8月5日に高島オリーブのブランド構築に向けて会議を開催されました。生産者や関係機関など18名が出席され、ブランドの目指す方向性やブランドづくりの材料について検討しました。

高島市は、令和2年度から耕作放棄地対策としてオリーブの栽培を推進し、令和7年4月時点で、14名の生産者が約6.2haで約2,500本のオリーブを植栽されています。

昨年度、オリーブ生産者組織やJAレーク滋賀、高島市商工会、びわ湖高島観光協会などで構成される協議会は、産地戦略である「高島市オリーブ産地化促進事業全体計画(第2期)」を策定されました。今年度は、当計画の方針に基づき、高島のオリーブのコンセプトの確立を重点的に取り組むこととされています。

この進め方について、当課は市とともにコンセプトの確立からデザインまで手掛けていただく市内業者(デザイナー)と事前打合せを行い、方向性を決定しました。

そして去る8月5日に第1回目の会議が開催され、まずデザイナーからブランディングについて説明していただき、出席者とともに「ブランドの目指す方向性」を検討しました。続いて、各出席者がそれぞれオリーブやオリーブを通じた地域活性化への期待などを語り、活発な意見交換が行われました。

今後、この会議を受けてデザイナーがコンセプト等を考案し、複数回の会議を経て来年2月頃を目標に完成させていく予定です。当課は引き続き市とともにデザイナーや生産者との調整等を行い、高島の特産品目として注目を集めることができるようなブランド構築を目指して支援してまいります。



会議の様子